

2022年8月23日

課題名：レジオネラ肺炎に対するラスクフロキサシン投与の有用性の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、レジオネラ肺炎の診断に対してラスビック(一般名：ラスクフロキサシン)というニューキノロン系の抗菌薬で治療をされた患者さんの治療効果や副作用、予後などの情報を調べています。

本研究では、レジオネラ肺炎に対するラスクフロキサシンの有効性や副作用の頻度を調べ、既存の治療薬と比べることにより、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

研究開始日から、2025年12月までの間に、レジオネラ肺炎であると診断された15歳以上の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、病歴、診断名、喫煙歴、基礎疾患、レジオネラ感染リスク因子、臨床症状、バイタルサイン、血液検査結果、胸部画像検査、細菌学的検査、尿中抗原検査、肺炎重症度、抗菌薬治療内容、治療効果、予後

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 伊藤 明広

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明